

# 目 次

序 言	1
年 代 表 一近世初期のヨーロッパ	11

## 第 1 部

### 第 1 次 生 産

#### 第 1 章 食物と飲料

第 1 節 新世界から渡来した新しい食物	3
第 2 節 アルコール飲料	11
第 3 節 新しい農業技術	12
第 4 節 製 粉	15
第 5 節 食物の調製, 検査, 保存	18
第 6 節 栄養科学の勃興	21

#### 第 2 章 冶金術と試金法

第 1 節 冶金術に関するルネサンス時代の著者たち	24
第 2 節 亜金属類	25
第 3 節 鉄 工 業	26
第 4 節 鉄と鋼の利用	28
第 5 節 銅 合 金	32
第 6 節 錫 合 金	36
第 7 節 鉛の用途	38
第 8 節 貴金属の合金とその製造技術	39
第 9 節 冶金用の炉	42
第10節 科学としての冶金	48
第11節 試 金 法	51

#### 第 3 章 石炭の採掘と利用

第 1 節 初期の石炭史	60
第 2 節 イギリスの石炭業	62

第3節	石炭燃料の新しい利用	64
第4節	石炭の採掘と輸送	67
第5節	石炭と技術の発展	69
第4章	風 車	72

## 第2部

### 製 造 業

第5章	職人の道具 —1500年頃～1850年—	89
第1節	村の仕事場	90
第2節	手製の道具	91
第3節	道具製作の町	92
第4節	職業の専門化	93
第5節	道具の専門化	94
第6節	専門家の道具の起源	96
第7節	デザイン	97
	車大工の職業について	99
第1節	ボ ス	100
第2節	柄 継 ぎ	100
第3節	スポーク	101
第4節	外 縁	102
第5節	タ イ ヤ	102
第6節	軸受け箱	103
	おけの製作について	103
第6章	農具, 運搬用具, 馬具 —1500～1900年—	
第1節	農 具	109
第2節	運搬用具	114
第3節	馬 具	121
第7章	紡績と織布	
第1節	繊維と紡績準備工程	123
第2節	紡 績	130
第3節	繰返し, 整経, のり付け	132
第4節	織 布	135

第5節 仕上工程	139
補遺	145
編物とメリヤスについて	147

## 第8章 紋織物

第1節 空引機	153
第2節 紋綜統	153
第3節 引き紐における紋意匠の作成	155
第4節 通糸における意匠の設定	157
第5節 緯表の紋織物	158
第6節 紋二重織	161
第7節 ダマスク織	164
第8節 ビロード	166

## 第9章 ガラス

第1節 北部のガラス製造 —1550年頃まで—	169
第2節 1550年頃までのイタリアのガラス製造	171
第3節 イタリアの方法の伝播 —1550年頃~1615年—	176
第4節 17世紀における進歩	180
第5節 18世紀	183
第6節 レンズと光学器械	186
第7節 レンズの研磨	191
第8節 窓ガラス	194
第9節 ステンド・グラス窓	196

## 第3部

### 物質文明

## 第10章 建築構造

第1節 イタリア	199
第2節 フランス	205
第3節 イングランド	208

## 第11章 都市計画 —古代からルネサンスまで—

第1節 最古の計画された諸都市	219
第2節 ギリシアの世界とヘレニズムの世界	221

第3節	ローマとその帝国	224
第4節	中世	231
第5節	ルネサンス。イタリア	233
第6節	ルネサンス。フランス	238
第7節	アムステルダム of 建物	241
第8節	大火後のロンドンの計画	242

## 第12章 土地の排水と干拓

第1節	オランダ	245
第2節	イタリア	251
第3節	イングランドとフランス	257

## 第13章 機械と機構

第1節	機械一般	263
第2節	ねじとその発展	271
第3節	バランス・プレスと圧延機	276
第4節	科学と技術家	280

## 第14章 軍事技術

第1節	戦略と戦術	282
第2節	武器（火器以外）と甲冑	285
第3節	携帯用火器	287
第4節	大砲	292
第5節	築城	298
第6節	科学, 技術, 戦争	302

引用文献目録	305
--------	-----

参考文献目録	315
--------	-----

図版目録（本文図版, 写真版）	323
-----------------	-----

写真版（アート紙別刷, 1~20）	巻末
-------------------	----